

就任のごあいさつ

昨年度末で棟方正樹副院長が退任され、今年度から沼尾宏副院長と松井淳副院長が就任となりました。お二人から就任のご挨拶です。



副院長 沼尾 宏(ぬまお ひろし)

今年4月に副院長を拝命いたしました沼尾 宏です。副院長としては主に入院・外来部門を担当し、がん・支持医療センター長、消化器・腫瘍内科部長、薬物療法部長、サポーターケア推進部長も兼任しております。

医師8年目で当院に赴任して以来、長年にわたり消化器内科医として勤務してまいりましたが、昨年よりがん診療センターを担当することとなり、サポーターケアやアドバンス・ケア・プランニング（ACP）などの活動にも携わっております。

これらの活動を通じて、医療職・事務職を問わず、スタッフ一人ひとりが真摯に仕事に取り組んでいる姿に深く感銘を受けるとともに、多職種が意見を出し合い、協力しながら事業を進めていくことの大切さを改めて学びました。

今後は、当院におけるがん診療のさらなる質の向上はもちろん、診断から緩和ケアまで、患者さんが安心・納得して治療を受けられる体制づくりに、微力ながら貢献してまいりたいと考えております。また、患者さんの思いに寄り添った医療を提供できるよう、ACPの普及にも力を入れてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

副院長 松井 淳(まつい じゅん)

2026年4月1日付けで副院長を拝命した松井 淳です。

当院では、糖尿病・内分泌内科部長（糖尿病センター長）として糖尿病代謝疾患と内分泌疾患の診療に、「医療の質」総管理センター副センター長として「医療の質」改善活動に、そして栄養管理部長として栄養管理と嚥下・摂食サポートに関わってきました。また、昨年は医療連携の責任者として入退院支援及び相談支援の推進、地域の医療機関との連携強化にも関わらせていただいています。このたび医療情報部長も兼任することとなりましたが、当院の医療DXを推進し、患者さんの診療における利便性の向上、地域における医療連携の推進、また病院職員の働き方改革等を支援していきたいと考えています。

現在、医療を取り巻く環境は厳しさを増しています。また、6年後には統合新病院の開設を控えています。医療DXにより地域における双方向性の医療連携を確立し、より安心して医療を受けられる体制づくりにいくらかでも貢献したいと思っています。

引き続き、皆さまのご指導及びご協力のほどいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。



今年度新たに新設された診療科をご紹介します。

当院では2014年8月に泌尿器科でロボット支援手術を開始し、前立腺がんに対する前立腺全摘除術、腎がんに対する腎部分切除術、腎盂腫瘍や尿管腫瘍に対する腎尿管全摘除術、さらに副腎腫瘍や膀胱がんに対する膀胱全摘術、回腸利用新膀胱増設術などに取り組んできました。

婦人科では2018年10月から子宮筋腫や子宮がん、呼吸器外科では2021年5月から肺がんや縦隔腫瘍、外科では2019年4月から直腸がん、2022年からは胃がん、近年は肝臓がんに対する手術にも取り組んでいます。現在使用している手術支援ロボットは2代目となっており、これまで積み重ねてきた経験を生かしながら、より充実した体制でロボット手術に取り組んでいます。

対象疾患

泌尿器科、産婦人科、
呼吸器外科、外科



現在使用のダヴィンチXiサージカルシステム

患者さんへ

ご自身の疾患が、
ロボット手術の
対象になるかに
ついては各診療
科にご相談くだ
さい！

センター化の意義

海外ではロボットがある病院に患者が集まり手術できる病院の集約が進んでいますが、近年日本でもロボット支援手術は保険適用となる術式が順次拡大しており、今後は全国的にさらに多くの診療科がロボット手術に参画していくことが見込まれます。こうした流れの中で、新たな診療科が円滑に導入できるよう、病院全体で支える体制づくりがますます重要になります。

そのため当院では、ロボット手術の部門をセンター化します。

詳しくは当院ホームページをご覧ください➡



最新手術ロボット「Da Vinci 5&Da Vinci SP」操作体験会を開催！

5月21日（木）、22日（金）の2日間、将来の外科系に興味を持つ研修医や医学生、日頃からロボット診療に関わる診療科スタッフ、そして看護師や医療技術職員を対象として、最新の手術ロボット「Da Vinci 5」「Da Vinci SP」の展示および操作体験会が行われました。



詳しくは
【県病だより】を
ご覧ください➡



- 参加者の感想**
- ・触覚が伝わるのは心臓外科領域においてはとても良いと思った。（医師）
 - ・普段臨床でダヴィンチに触れることがない若手にとっては触れる貴重な機会となった。（医師）
 - ・SPを体験しました。シングルポートならではの低侵襲さと操作性、PCの動きの違いを見ることができました。手術に立ち会いますが、実際に操作はしなかったのが非常に為になりました。（医療技術職員）
 - ・質感を感じました。操作は慣れるまでが大変だと思いました。（その他）



院内での取り組みを紹介します！



特定看護師の可能性が広がる県病へ — 育成と実践のスタートライン

看護企画班 伊藤伸子

当院では、特定行為研修を修了した看護師が徐々に増え、各部署での実践が広がっています。特定行為は、医師の判断を待たずに手順書をもとに一定の診療の補助を行うことができ、急性期医療の現場で求められる“タイムリーなケア”を実現する仕組みです。

私自身も八戸市立市民病院で看護師特定行為研修「救急領域パッケージ」を受講し、昨年度修了しました。研修では実践的な知識・技術だけでなく、特定看護師としての姿勢や、組織の中でどのように役割を果たしていくか、どのように推進し、活用や育成につなげていくかという視点も重視されており、その経験は当院での教育体制や実践体制の整備に大いに役立っています。通学と業務との両立は簡単ではありませんでしたが、楽しい仲間と心強い教員の皆様に支えられ、そして、職場の皆様にもサポートをいただき、多くの学びや経験を得ることができました。この場を借りて、心より感謝申し上げます。

研修の中では、実習の課題として、当院の看護管理者の皆様へ特定看護師の育成と活用推進についてお話しする機会もいただきました。特定行為の必要性や今後の方向性を共有でき、温かいご理解と協力のお声かけは大きな励みになりました。こうした管理者の支援があることで、研修修了者が働きやすい環境づくりが進んでいると感じています。

特定行為研修を修了すると、人工呼吸器の設定変更や鎮静剤の調整、直接動脈穿刺による動脈血液ガス分析、脱水補正のための輸液管理など、患者さんの状態に応じたタイムリーな対応が可能になります。人工呼吸器装着患者のラウンドを行うRST（呼吸サポートチーム）や急変予兆に早期に対応するRRT（迅速対応チーム）といった院内横断的なチーム活動でも、特定行為研修修了者が加わることで、安全な人工呼吸器管理や急変対応の質向上が期待されます。

また、特定行為は「できる処置が増える」だけではありません。研修で培う臨床推論やフィジカルアセスメントの力は、急変や重症化の回避、せん妄患者の身体的要因の評価や身体拘束の軽減、カンファレンスの質向上など、看護部が掲げる目標にも直結する効果があります。



現在、当院では特定行為研修修了者の活動を支える体制整備を進めています。まずは所属部署での実践から、そしてRST・RRTなど院内横断的な活動へと広げていく予定です。さらに今年度からは、当院自身が特定行為研修の「指定研修機関」として開講できるよう準備を進めています。佐藤副院長、永谷心臓血管外科部長、齋藤救急科部長をはじめ、多くの医師の皆様、さらに4人の心強い診療看護師の皆様の協力を得ながら、「県病生まれの特定看護師」の育成を目指しています。教育には、これまで各地で研修を修了してきた認定看護師・専門看護師が携わり、呼吸管理や輸液管理など、当院の患者さんに必要な「呼吸器モデル」「水分・栄養モデル」を設定し、安全な医療提供につなげていきます。

また、県内の医療機関との連携強化を見据え、次年度からは院外の看護師の皆様にも研修の機会を提供できるよう準備を進めています。詳細は決まり次第お知らせいたします。急性期医療の需要が高まる中、県病が教育的役割を果たし、地域全体の医療の質の向上に貢献していきたいと考えています。

豊富な経験が積める県病で、特定行為を活かしたスキルアップをともに目指していきたいと考えています。



医療連携部 令和8年度スケジュールのお知らせ

医療連携部では毎年様々なイベント・研修会を行っております。

令和8年度年間スケジュールについてお知らせいたします。

また、内容の詳細や申込方法などについては、当院ホームページに掲載してまいります。

イベント名 ▶ リレー・フォー・ライフ・ジャパン青森

場所 ▶ 青森県立保健大学 グラウンドおよび体育館

日時 ▶ 令和8年8月22日（土）12:00 ～ 令和8年8月23日（日） 10:00

お問い合わせ先 がん相談支援センター TEL:017-726-8435

詳細はこちら



イベント名 ▶ 第17回 県病医療連携フォーラム

場所 ▶ ウェディングアラスカ 地下1階 「サファイア」

日時 ▶ 令和8年8月22日（土）15:00～17:00

テーマ ▶ 新たな地域医療構想とこれからの医療連携

お問い合わせ先 企画グループ TEL:017-726-8432 MAIL : iryo-renkei-forum@med.pref.aomori.jp



イベント名 ▶ スキルアップ研修会

場所 ▶ 青森県立中央病院 研修室又は大会議室

時間 ▶ 18:00～19:30 （テーマによって異なる場合があります。）

日程 ▶ 第1回 5月19日（火）、第2回 7月21日（火）、第3回 9月15日（火）
第4回 10月21日（水）、第5回 11月17日（火）

お問い合わせ先 企画グループ TEL:017-726-8432 MAIL : skill.renkei@med.pref.aomori.jp

イベント名 ▶ 介護従事者に知ってほしい医療を学ぶ研修会

場所 ▶ 青森県立中央病院 研修室

時間 ▶ 14:00～15:30 （全4回 Webと集合形式のハイブリット開催です。）

日程 ▶ 第1回 6月20日（土）、第2回 8月1日（土）、第3回 10月17日（土）
第4回 12月12日（土）

お問い合わせ先 企画グループ TEL:017-726-8432 MAIL : kaigo.renkei@med.pref.aomori.jp

イベント名 ▶ 糖尿病連携研修会

方式 ▶ YouTube配信

日時 ▶ 1月～2月予定 「介護支援のための糖尿病の基礎知識」
▶ 2月20日（土）「糖尿病ネットワーク研修」



お問い合わせ先 企画グループ TEL:017-726-8432 MAIL : kaigo.renkei@med.pref.aomori.jp

